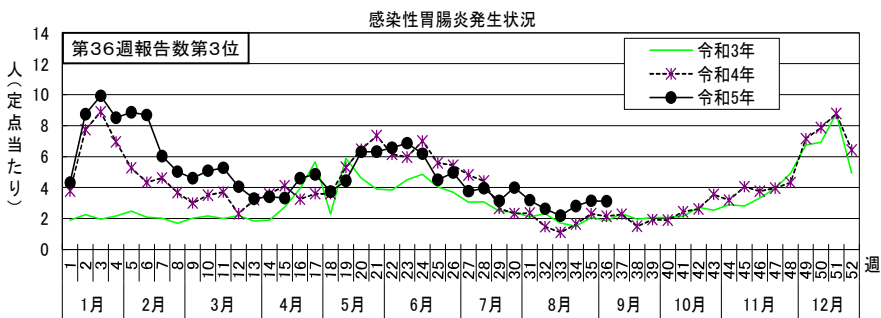
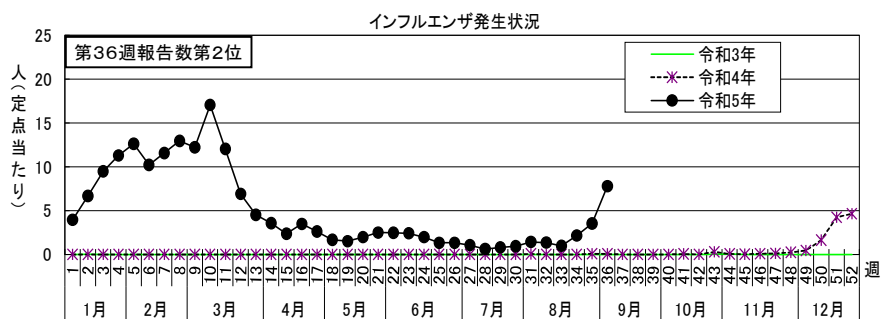
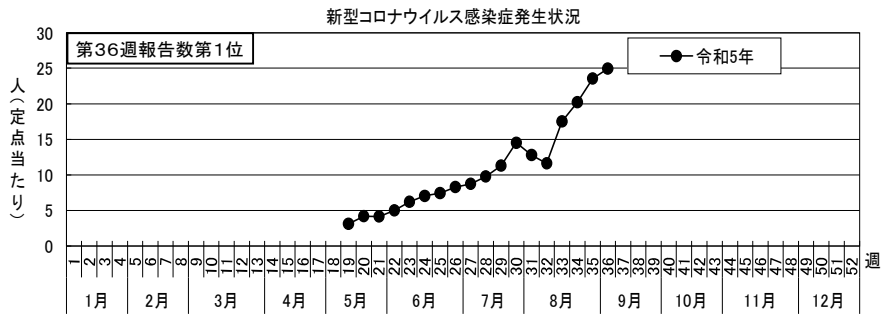


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年9月4日（月）～令和5年9月10日（日）〔令和5年第36週〕の感染症発生状況

第36週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 新型コロナウイルス感染症 2) インフルエンザ 3) 感染性胃腸炎でした。新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は24.95人と前週（23.56人）から横ばいでした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.80人と前週（3.54人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週（3.14人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

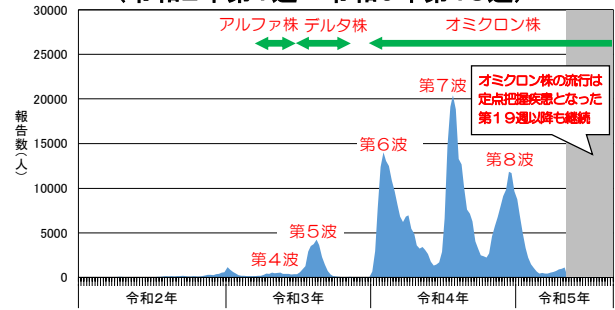


新型コロナワクチン～令和5年秋開始接種について～

新型コロナウイルスには多くの変異株が確認されており、国内では流行期ごとに主流となる株が異なります。第6波以降はオミクロン株が主流であり、第6波及び第7波ではBA.1、BA.4、BA.5等のオミクロン株の亜系統が流行しました。現在は更に変異したオミクロン株のXBB.1系統等が流行しています。

新型コロナワクチンは、概ね各流行期の株に合わせたワクチンが使用されており、9月20日から開始される令和5年秋開始接種では、オミクロンXBB.1系統に対応したワクチンが使用されます。新型コロナワクチンの初回接種を完了した全ての方が対象ですが、接種券の発送日等については、年齢や過去の接種歴によって異なるため、詳細は川崎市のホームページをご覧ください。

川崎市における新型コロナウイルス感染症発生状況（令和2年第1週～令和5年第18週）



令和5年秋開始接種概要

【実施期間】 令和5年9月20日～令和6年3月31日

【対象者】 新型コロナワクチンの初回接種を完了している全ての方



【接種間隔・回数】

① mRNAワクチン（オミクロン株XBB.1.5対応型）
⇒前回接種から3か月以上の間隔を置いて1回接種

② 不活化ワクチン（ノババックス）
⇒前回接種から6か月以上の間隔を置いて1回接種

※①の接種を基本としますが、何らかの理由でmRNAワクチンを接種できない方は、②を使用できます。

【接種費用】 無料

【問い合わせ先】 新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター
0120-654-478

